

令和元年度版白書を読む会併催

SDGs で考える

企業と地域の協働セミナー

環境省関東地方環境事務所
関東地方環境パートナーシップオフィス
(関東EPO)



EPO/GEOCとは

- ・環境省の出先機関である地方環境事務所の管轄区域（計8ブロック）ごとに、官民協働による「**地方環境パートナーシップオフィス（地方EPO）**」を運営（**環境教育等促進法第19条第1項に基づく拠点として位置づけ**）。
- ・中間支援組織として、環境NPOの基盤強化支援のほか、地域の環境課題に応じて、多様な主体が対等な立場で相互に協力して課題解決に取り組むよう、コミュニケーションの場づくり等を行っている。



環境教育等促進法について（概要）

環境教育の充実

家庭、学校、職場、地域等における質の高い環境教育の実施

- 環境教育等支援団体の指定
- 人材認定等事業の登録
(指導者育成、教材開発・提供)
- 体験の機会等の場の認定

環境問題解決に向けた
各主体の意識向上

協働取組

環境行政への民間団体の参加

- 民間団体の公共サービスの参入機会の増大
- 政策形成への民意の反映
- 拠点機能の整備
- 協働取組推進のための協定/申出制度の導入

行政の取組み

- 財政上の措置等
- 情報の積極的公表等
- 民間の自立性への配慮
- 行動計画・施策策定
- 環境教育等推進会議 等

適切な役割分担に基づく
協働体制の構築

持続可能な社会の構築

SDGs

について

持続可能な開発目標 (SDGs)

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

世界を変えるための17の目標



- 2015年9月の国連総会にて採択
- 2030年を達成期限とする17のゴール、169のターゲット

SDGsとは何か

持続可能な開発のための2030アジェンダ

2030
アジェンダ

前文

宣言

SDGsとターゲット

実施手段とグローバル
パートナーシップ

フォローアップとレ
ビュー

誰一人取り残さない

5つのP



5つの要素 “5 P”



2030アジェンダのキーフレーズ

私たちの世界を変革する

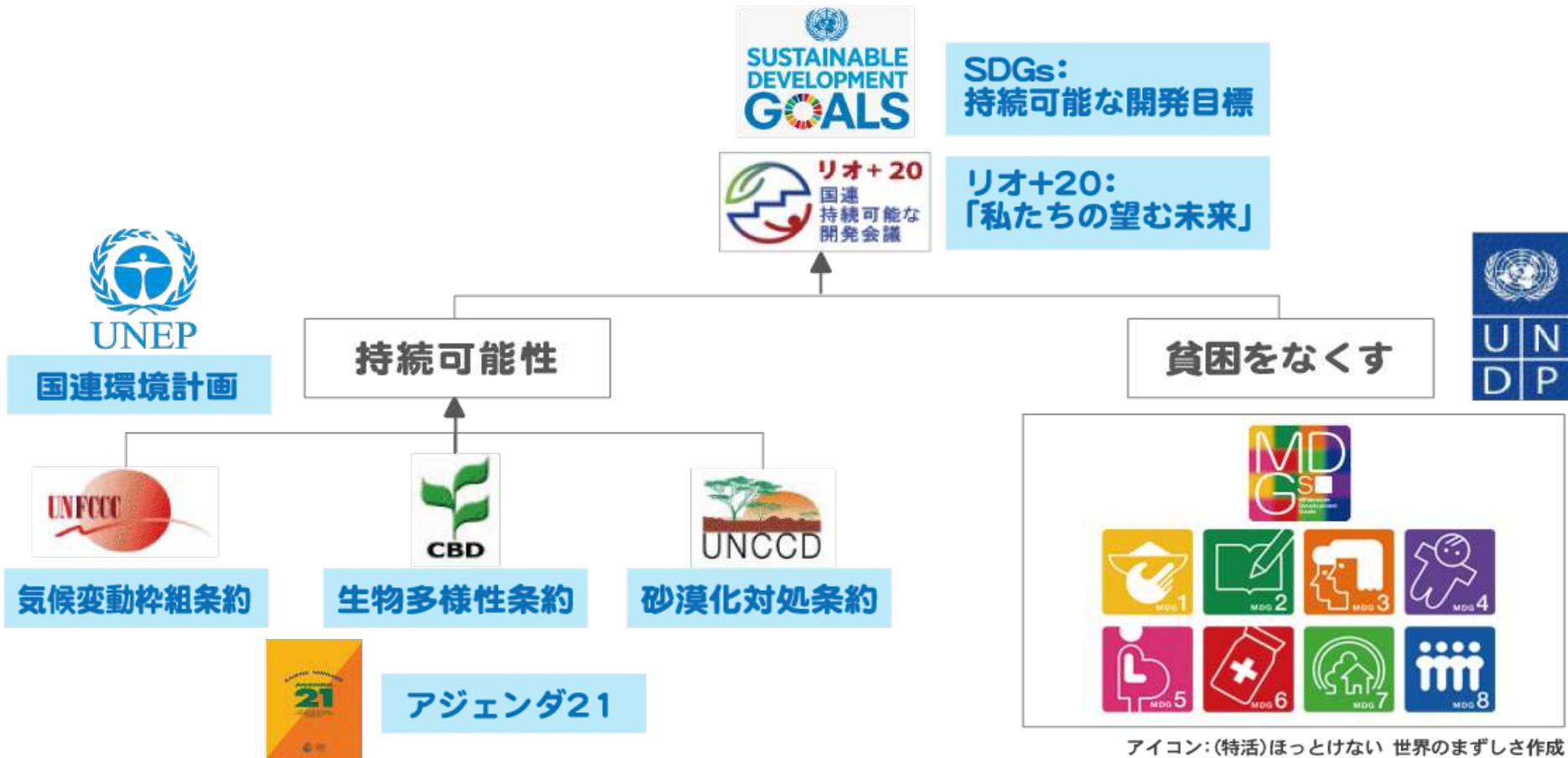
- Transforming our world.

誰一人取り残さないことを誓う

- We pledge that no one will be left behind.

SDGsがつけられたプロセスとポイント

普遍性：途上国だけではなく、先進国も取り組む



アイコン：(特活)ほっとけない 世界のまずしさ作成

※SDGs策定プロセスのイメージ

SDGsができた理由



地球の限界



人間の暮らしの
危機

SD

について

統合性：課題はつながりあっている
健全な地球環境なしには、社会も経済も成り立たない。



財務資本、知的資本

ECONOMY
経済

PRODUCTIVITY
生産性

人的資本、製造資本



SOCIETY
社会

EQUITABLE ACCESS
公平なアクセス

社会関係資本

BIOSPHERE
生物圏

RESILIENCE
レジリエンス

農業、林業、等
Zero Deforestation

淡水
Water Neutral

自然資本

海洋
持続可能な漁業、等

温暖化緩和・適応
Zero Carbon

※出典…(株)インターリスク総研より資料提供

SDGs "wedding cake" illustration presented by Johan Rockström and Pavan Sukhdev
Graphics by Jerker Lukavitz/Axete

環境、経済、社会を三層構造で示した木の図



資料：環境省環境研究総合推進費戦略研究プロジェクト「持続可能な開発目標とガバナンスに関する総合的研究」より環境省作成

「持続可能な社会」とは

健全で恵み豊かな環境を維持しつつ、環境への負担の少ない健全な経済の発展を図りながら持続的に発展することができる社会

環境教育等による環境保全の取組の促進に関する法律 第1条

「持続可能な社会」とは

人の健康や生態系に対するリスクが十分に低減され、
「安全」が確保されることを前提として、
「低炭素」・「循環」・「自然共生」の各分野が、
各主体の参加の下で、統合的に達成され、検算で恵
み豊かな環境が地球規模から身近な地域にわたって
保全される社会

第四次環境基本計画

SDGsのポイント

項目	概要
普遍性	①国際社会においても幅広くロールモデルとなり得る取組であるか ②国内における取組である場合、国際目標達成に向けた努力としての側面を有しているか
包摂性	①「誰一人取り残さない」の理念 ②多様性の視点 ③ジェンダーの主流化
参画性	①脆弱な立場に置かれた人々を対象としているか ②自らが当事者となって主体的に取り組んでいるか ③多様なステークホルダーの巻き込み
統合性	①経済・社会・環境の分野の相互関連性・相乗効果 ②統合的解決の視点 ③異なる優先課題を有機的に連動させているか
透明性と説明責任	①取組の定期的評価 ②取組の公表 ③取組の適切な修正

+ 変革性とバックキャストイング

協働

について

SDGs = 解決したい社会課題

17のGOAL

169のTARGET

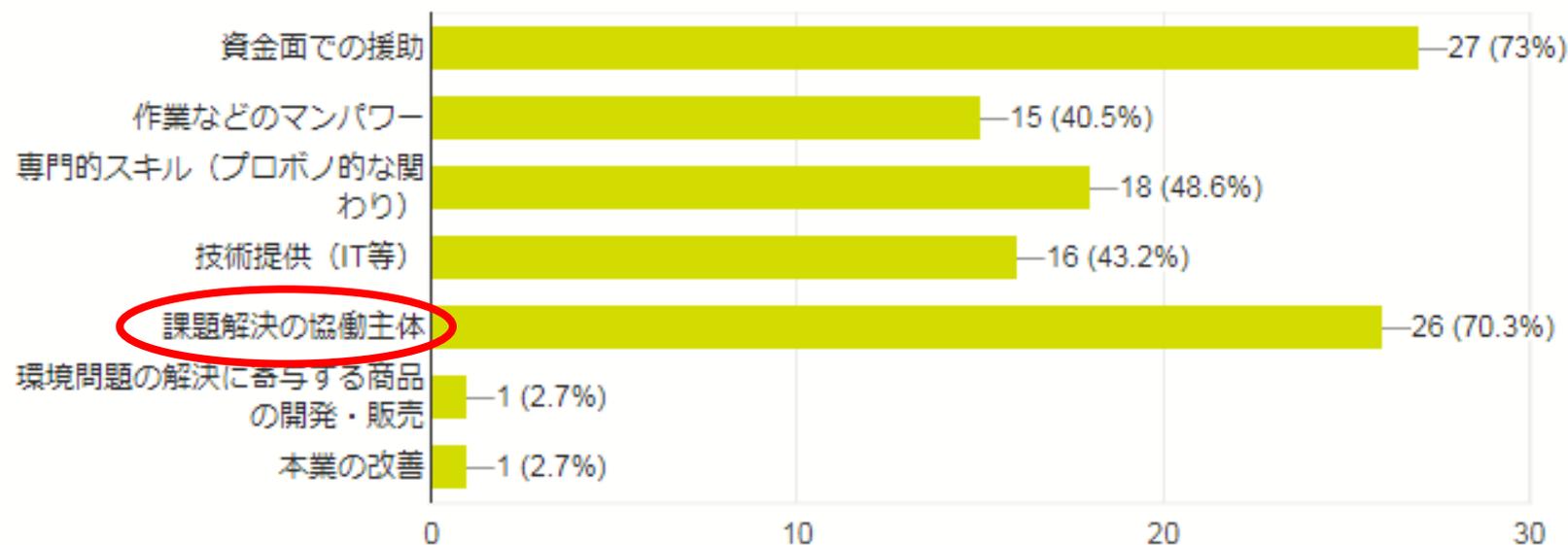
SD



地域が企業に求めること

企業に対して求めることは何ですか

37件の回答



環境ボランティアなび2018掲載団体アンケートより

実例：目標設定アプローチの採用

インサイド・アウト・アプローチ

目標設定に対し、内部中心的なアプローチを取る今日的なあり方では、世界的な課題に十分対処することができない。

アウトサイド・イン・アプローチ

世界的な視点から、何が必要かについて外部から検討し、それに基づいて目標を設定することにより、企業は現状の達成度と求められる達成度のギャップを埋めていく。

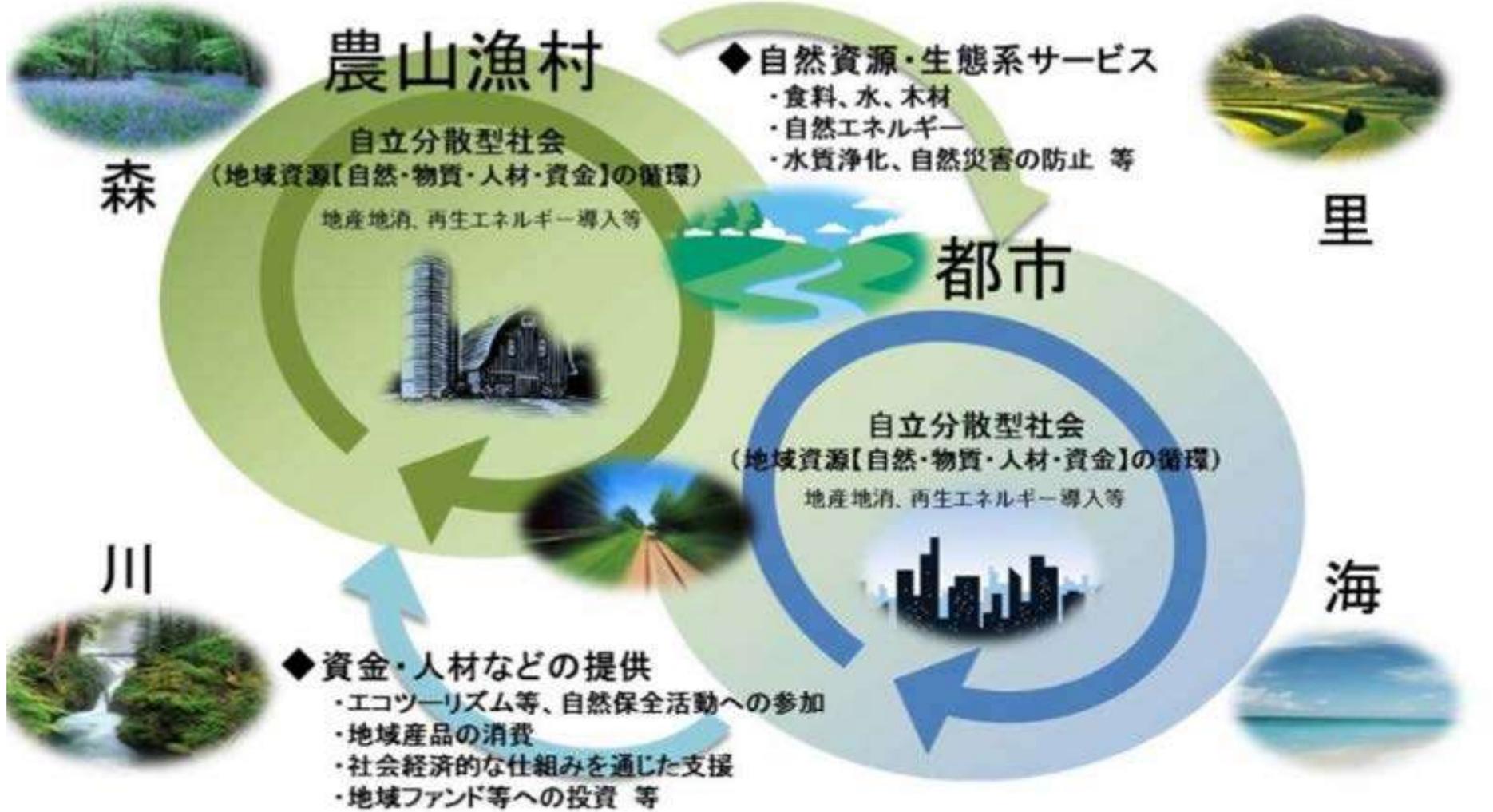
SDGsは、国際的に望ましい到達点に関しての前例のない政治的合意である。

企業・団体側の ミッション / 課題・ニーズ

地域・社会側の課題・ニーズ



SDGsが達成された社会の在り方例



地域循環共生圏

事例紹介

- 課題解決の視点からのスタート
- 「適切な役割分担」が見える
- 課題に効果が見える(アウトプット)
- さらに展開が見える(アウトカム)

今日の問いかけ

私にとっての地域はどこ

自分が関係する地域の資源はなんだろう

自分が関係する地域の課題はなんだろう